

トビタテ！留学JAPAN日本代表への道 (平成30年度前期)

初めに

- ホームページ「日本代表プログラムについて」の「**募集要項**」を確認。
採用後、「9. 派遣留学生の要件」及び「5. 支援の対象(2) 留学計画の申請要件」を満たさなくなった場合は**採用が取り消されます**ので、事前にしっかり内容を確認をしてください。
- 応募したい場合は、初めに在籍大学等の留学生担当部署等で**応募の意思があることを伝え、申請書類の提出期限・提出方法等を確認。**

あなたは、

募集要項p6 「9. 派遣留学生の要件」

日本国籍を有している又は日本への永住が許可されている。

本制度で実施する事前・事後研修及び留学生ネットワーク(支援企業等に対する留学計画や活動報告・成果等の情報の提供を含む。)に参加する。

日本の大学等において、卒業又は学位取得を目的とした課程に在籍する。

日本の在籍大学等が派遣を許可し、留学先機関が受入れを許可する。

(独)日本学生支援機構の第二種奨学金の家計基準を満たしているため、大学全国コースへ申請する。
または、(独)日本学生支援機構の第二種奨学金の家計基準を満たさないため、大学オープンコースへ申請する。
※在籍大学等に家計の所得がわかる直近(平成28年1月～12月分)の必要書類(源泉徴収票、確定申告書等)を提出し、家計基準を満たすか満たさないか確認してください。

留学に必要な査証を確実に取得し得る。

留学終了後、日本の在籍大学等で学業を継続又は学位を取得する。
※採択された留学期間中であっても、卒業等により日本の在籍大学等に在籍しなくなった場合は、在籍していた在籍大学等を通じて速やかに機構に連絡すること。その場合派遣留学生の採用を取り消し、既に支給している奨学金等の返納を求めます。

平成30年4月1日に、30歳以下であり、
日本の大学生、大学院生、短期大学生、高等専門学校(第3年次以上で専攻科を含む)、
専修学校(専門課程)生である。

インターンシップ等での報酬や他団体等から留学のための奨学金を受ける際には、その平均月額が、
本制度による奨学金の支給月額を超えない。

本制度において過去に派遣留学生として採用されていない。



あなたの留学計画は、

募集要項p4 「5. 支援の対象(2) 留学計画の申請要件」

平成30年4月1日から平成30年10月31日までの間に諸外国において留学が開始される予定となっている。
留学開始日は海外に渡航した日ではなく、授業や実習の開始日など実際に留学の内容が始まった日のことです。
(終了日も同じ考え方です。)

留学期間は28日以上で、2年以内である。(3か月以上推奨)
※3か月以上推奨ではなく28日以上であれば短期の留学計画でも支援する「海外初チャレンジ応援」枠を設けます。希望者は、応募様式の「海外初チャレンジ応援」枠にチェック!
※応援枠にチェック頂いた方の選考は、枠内のみで選考を行い支援予定人数全体のうち2割程度は、同枠の学生を支援することを予定しています。

留学先の受入機関を確保できる。
※受入れ機関が存在しない学生個人の活動等は認めません。

留学計画に実践活動が含まれている。
実践活動の受入機関名に関しては、応募時の記入は任意です。

在籍大学等が計画内容を学修活動と認めている。

あなたの留学計画の内容は、

募集要項 p2~3 「5. 支援の対象(1) 支援の対象とする留学の内容(申請コース)」
募集要項 別紙1「申請コース別申請対象の詳細」

下記分野は「在籍する分野」ではなく、「留学計画の分野」を選択してください。

理系分野、複合・融合系分野

理系分野、複合・融合系分野における学修、研究やインターンシップ、フィールドワーク、実験・実習等の実践活動を行い、特に、環境・エネルギー分野、ライフサイエンス分野、情報通信技術分野、農林水産分野、ものづくり分野において新産業創出につながるような取組や実践活動を行い産業界を中心に活躍する意欲のある学生の留学。

↓
理系、複合・融合系人材コース

(新設)未来テクノロジー人材枠

人口知能・IoT・ビッグデータ・ロボティクス・サイバーセキュリティ・データサイエンス の6分野について学びたいという強い意志とポテンシャルを持ち、日本では十二分に学べない領域を海外TOP大学、企業や研究機関等で研究や実践活動を行いたい学生のために、新設された特別枠です。

↓
理系、複合・融合系人材コースの
未来テクノロジー人材枠

人文・社会科学系分野

世界大学ランキングで上位100位以内に位置する等、諸外国におけるトップレベルの大学や研究所等において学修、研究やインターンシップ、フィールドワーク等の実践活動を行い産業界を中心に活躍する意欲のある学生の留学。

↓
世界トップレベル大学等コース

人文・社会科学系分野

留学計画の過半の期間、今後成長が見込まれる新興国において、現地語(英語以外)の習得、異文化理解等の学修、研究やインターンシップ、フィールドワーク、ボランティア等の実践活動を行い産業界を中心に活躍する意欲のある学生の留学。

↓
新興国コース

全分野

各々の分野や活動において、今後活躍が期待できる人材。
※活躍の分野が多様になるよう、審査の上、活動ジャンルのバランスを調整します。

[想定される人材例]

- ・スポーツ、芸術、政治、行政、教育、研究、医療、メディア、観光、ファッション、日本文化(古典芸能、和食等)等の多様な分野で活躍が期待される人材
- ・起業や国際協力等を目指して活動している人材
- ・復興支援活動をしている人材

↓
多様性人材コース

地域人材コースに関しては、
「地域人材コース」募集要項をご確認ください。



申請書類を作成・準備

●ホームページ「③留学計画書」から「留学計画書（事前準備用Excel）」をダウンロードし下書きを作成

ホームページに掲載してある留学計画書(事前準備用Excel)を確認し、申請の準備をしてください。

●自由記述と、あれば受入機関からの受入れ許可証等、計画の実現性を証明できる文書等(写し)を提出

※「未来テクノロジー人材枠」に応募する学生は、「自由記述書」の提出は不要とし、「推薦状」(1通)の提出を必須とします。(それ以外のコースで応募する学生は、推薦状の提出は不要です。)*詳しくは募集要項にてご確認ください。

※応募書類一式のデータ量が合計2MB以内になるように提出してください。計画の実現性を証明できる書類は、ある方のみ提出してください。

申請内容を在籍大学等へオンライン申請

記入漏れや不備等がないか確認

在籍大学等の指定する提出方法に基づいて申請内容をオンライン申請

★在籍大学等を通じて申請されるので、申請書類の取りまとめ方法も確認しておこう！

→1: 留学計画書(写真付) ※オンライン入力

→2: 自由記述又は推薦状(あれば)受入れ許可証等の文書等(写し)

PDFデータ添付(自由記述は、A4タテ 2枚以内)(容量:2MB以内)

①留学によってどんな自分になりたいか

②困難を克服した経験

③トビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラムに対して自身が貢献できると考えること

④その他アピールできるポイント

の4項目を記述してください。

※「未来テクノロジー人材枠」に応募する学生は、「自由記述書」の提出は不要とし、「推薦状」(1通)の提出を必須とします。

在籍大学等が設定した
提出期限まで(要確認)

応募学生 → 在籍大学等に
オンライン申請

平成29年10月20日(金)
17時まで

在籍大学等 → 事務局に
オンライン申請

選考へ

書面審査(平成29年11月~12月)

→在籍大学等を通じて12月中旬に
結果を通知予定

面接審査(京都:平成30年1月8日)

書面審査の合格者を選考

(東京:平成30年1月13日、14日) →在籍大学等を通じて結果を通知予定

平成30年2月上旬 採用学生の決定!

平成30年3月or6月
事前研修(1泊2日)に参加



トビタテ!
留学JAPAN

その経験が、未来の自信。

トビタテ!!